

第26号



ニュース

ニュース

加盟団体

- ・サンフレッチェ広島
- ・JTサンダース
- ・湧永製菓
- ・広島メイプルレッズ
- ・広島ガスバドミントン部
- ・NTT西日本広島ソフトテニスクラブ
- ・中国電力陸上競技部
- ・コカ・コーラウエスト
- ・レドスパークスホッケー部
- ・広島東洋カープ



FF 多くの市民と交流

3日から3日間、平和大通りを中心に行われたフラワーフェスティバルにトップスも参加。パレードや花の塔そばに設けられたブースなどで多くの市民と交流を深めた。

4日には為末大選手が行ったストリート陸上のトークショーにも招かれ、トップスを大いにアピールした。

ブース近くではハンドボールの湧永製菓やメイプルレッズ、バドミントンの広島ガス、パレーボールのJTサンダースがそれぞれ市民を相手にデモンストレーションを実施、なごやかなひとときを過ごした。

コイの季節 躍動

助っ人バリントン

4月の月間MVP

4月の月間MVPに新外国人のバリントンが選ばれた。3試合で完封勝ちを含めて3連勝。快調なスタートに貢献した。「役割が明確で、チーム一員の気持ちが強い」と頼もしい。



交流戦も上昇だ

過去最高2位・貯金3で交流戦突入

広島カープが快調に飛び出した。交流戦が始まるまで26試合で13勝10敗3分け。首位ヤクルトに2.5ゲーム差の2位につけた。交流戦突入時では過去最高の順位。貯金3も初めてだ。交流戦も上昇カーブを描きたい。

交流戦開幕

無念ドロー発進

交流戦は17日開幕。ソフトバンクと対戦した。初戦はい流れだったが、救援陣がつかまりドロー。2戦目は篠田が序盤に打たれ大量失点、追

《再開後の成績》

- 4 (3-0, 1-1) 1G大阪
- ▽1 (0-0, 1-1) 1磐田
- 1 (0-0, 1-0) 1清水
- ▽1 (0-1, 1-0) 1甲府
- 3 (2-1, 1-1) 2横浜
- 0 (0-1, 0-0) 1神戸



東日本震災で中断していたJリーグは4月23日、7週間ぶり再開。サンフレッチェは24日、ホームのビッグアーチにG大阪を迎えた。開始28秒で李が先制。その後も森崎浩、ミキッチ、佐藤が加

点、終了間際に1点を返されたが2001年11月3日以来リーグ戦では10年ぶりの白星を挙げた。その後も清水に日本平で95年8月12日以来16年ぶりの勝利を挙げるなど、黒星なしの好ダッシュを見せた。しかし続くアウエー神戸には0-1で敗れ、初の黒星を喫した。

7試合を終えた時点で3勝3分け1敗、勝ち点は12で、6位につけている。失点7と固い守りに支えられ、4得点の李が得点ランク2位タイ。

今季新加入のDF水本とMF青山が甲府戦で負傷、戦列を離脱した。水本は前半、相手選手との競り合いでひじが頭に当たり、その後もプレーを続けたが後半11分交代した。頭蓋骨折などと診断され、開頭血腫除去手術を受け全治約4カ月の見込み。青山は左膝内側半月版の部分切除手術を受け復帰まで3週間。

負傷で離脱
青山・水本

リーグ再開 好ダッシュ

コカ3連勝発進

日本リーグ開幕 初Vへ積極補強



《第1節成績》

- 1 (0-0, 1-0) 0南都銀行
- 2 (0-0, 2-0) 0天理大
- 7 (3-0, 4-0) 0立命大



無失点

東日本大震災で開催が延期されていたホッケー日本リーグ女子が20日開幕した。初優勝を狙うコカ・コーラウエストは南都銀行などと3試合を行い、3連勝の好発進となった。今季は積極補強し、さらに韓国から代表DFを加え戦力アップした。

次戦は7月9、10日に地元に東海学院大とソニーHCを迎える。天敵ソニーとどのような戦いを展開するか。優勝へ向けての大一番だ。9日は15時、10日は14時開始。

韓国代表DF 朴善美を獲得



大量補強をしたコカ・コーラウエストにまたひとり強力助っ人が加入した。韓国代表DFの朴善美(パク・ソンミ)で昨年の広州アジア大会にも出場、アジアイレブンに選ばれたほどの実力の持ち主。

相手のパスコースに対しての鋭い読み、パスカットしてからの早い前線への正確なパスなどが持ち味で、チームの攻撃起点になることは間違いない。

《黒鷲旗全日本男女選抜大会 成績》
 ※予選リーグD組
 ○3 (25-17、25-19、25-8) 0 富士通
 ○3 (25-16、25-18、25-20) 0 筑波大
 ●1 (20-25、16-25、26-24、25-27) 3 けぞック
 *順位 ①パナソニック3勝②JT2勝1敗③筑波大1勝2敗④富士通3敗
 ※準々決勝
 ●1 (25-23、15-25、21-25、18-25) 1 東レ

黒鷲旗バレー

バレーボールの黒鷲旗全日本男女選抜大会は4月30日から6日間、大阪府立体育会館で開かれ、7年ぶりの優勝を目指すJTは準々決勝で東レに敗れ、昨年準優勝の借りは返せなかった。
 予選リーグD組はパナソニックに敗れ、2勝1敗で決勝トーナメントに進出した。準々決勝の東レには第1セットこそ逆転で奪った。しかし第2セット以降は東レの勢いを止められず、後退した。
 優勝は東レが堺をストレートで下し、5年ぶり6度目、女子はJTがNECを3-1で破り初の頂点。

ファン感謝デーに500人退部の宮下・中山に惜別

22日、猫田記念体育館でファン感謝デーが開かれ、500人が詰めかけ、3時間にわたって選手となごやかなひとときを過ごした。
 サープ、レシーブに挑戦したり、選手が描く似顔絵コーナーなどに参加してポイントがつきプレゼントがもらえる新企画も登場。また東日本大震災チャリティーでは選手のジャージーなどが登場、人気を集めた。
 最後には昨シーズン限りで退部のセンター宮下雅寛(32)とレフト中山大祐(27)に花束が贈られ、10シーズンを在籍した宮下選手は「優勝できなかったことが心残り」とあいさつ、多くのファンから惜別の拍手が沸き起こった。今後は2人とも社業に専念する予定。



JT、
準々で
姿消す

湧永 “盟主” 復活へ

黄金時代のサウスポー大砲



新監督に玉村氏

ハンドボール男子・湧永製薬の新監督にOBの玉村健次氏(50)が就任した。17日付け。16年ぶりの現場復帰となる。

玉村新監督は教員チームから転じた異色のルーキーとして85年に入社。10シーズンにわたって活躍。左利きの大砲として数々の優勝などに貢献。日本リーグ3度のMVP、得点王、1試合個人最多得点(22得点)1試合フィールド最多得点(18得点)は現在もリーグ記録。

現役を退いたあとは指導者としてU-21日本代表監督などを2006年まで務め、以後は社業のかたわら後輩にアドバイスなどをしてきた。

新指揮官は「日本一復活へチーム内での競争意識を高め“練習で泣き、試合で笑う”をテーマに指導に当たりたい」と“盟主”復活に力強い決意をのぞかせている。



たまむら・けんじ 1961年1月16日、大阪府生まれ。大阪体大から奈良県で2年間教員生活の後、85年に湧永製薬に入社。10年間プレー、グラウンドスラムを含め20回の優勝を経験。日本リーグでは歴代通算14位の601得点。リーグ記録のMVP、得点王を各3度、ベストセブン6度など受賞。日本代表として90年世界選手権(チエコ)08年ソウル五輪などに出場。23日本代表コーチのあと2006年までU-21日本代表監督を務めた。入社した1985年に西ドイツ(当時)に1シーズン留学。日本体協上級コーチ



呉成玉の就任会見

陸上の中国実業団選手権は5月7・14・15日にみよし陸上競技場で開かれ、新井が5000㍍では13分58秒65で優勝、10000㍍では28分43秒19で2位となった。

そのほかでは5000㍍に8人が出場、藤原が14分21秒37で8位、田中13位、白濱14位、油谷19位、尾方20位、米澤23位、清谷25位、尾崎29位。10000㍍には新井のほか9人が出場。田中が29分6秒16で4位、藤原が29分18秒09で9位のほか佐藤18位、清谷19位、米澤23位、尾崎26位、尾方28位、白濱29位だった。

兵庫リレーカーニバル
千5百 田子が制す

4月24日の兵庫リレーカーニバル15000㍍では田子が3分43秒05で制した。10000㍍の岡本は28分5秒84で8位、石川は28分14秒44で9位でいずれも自己ベストの力走。そのほか10000㍍では森本17位、米澤20位だった。

中国電力
陸上競技部
新井 5千優勝
中国実業団



織田記念5千

4月29日の織田記念では5000㍍に6人が出場。Aでは岡本が13分40秒24で2位、新井が13分56秒76で6位。Bでは藤原が14分22秒48で2位、清谷が14分25秒13で5位、尾方は7位、白濱は8位。

岡本2位

メイプル 呉成玉監督発表

メイプルレッツは11日、林五卿元監督(現ソウル市庁監督)とともに黄金時代をリードしてきた呉成玉新監督就任会見を広島市内のホテルで行った。1日付けで2年契約。

呉監督は会見で「厳しい指導に徹し、最低でもタイトルを1つは取りたい」とコメントした。初さい配は7月、北海道・函館での全日本社会人選手権(全日本実業団選手権を衣替え)となる。

知事杯
男女が1位

知事杯県選手権は4月17日、広島市中央コートであり、男女で4強を独占した。
 決勝で男子は堀・長江組が中堀・森本組、女子は佐々木・大庭組が塔田・小林組を下し1位となった。



大接戦…代表決まらず
佐々木・大庭組は2位

ソフトテニスの世界選手権日本代表選手予選会は3日から3日間、広島市中央コートなどで開かれ、女子の佐々木・大庭組は最終戦で大接戦の末に敗れ2位となり、代表決定は持ち越した。3次リーグで2勝1敗で並んだが、直接対決で優勝した杉本・森原組(東芝姫路)に敗れたため2位となった。他の男女はいずれも2次リーグまでに敗れ、最終3次リーグに進めなかった。

世界ソフトテニス予選会



小池、混合複で3位 日本ランキングサーキット大会

バドミントンの日本ランキングサーキット大会は7日から5日間、さいたま市記念総合体育館で開かれ、混合ダブルスに木村(ジェイテクト)と組んで出場した小池は準決勝で0-2で敗れ、今別府(ヨネックス)とのダブルスは準々決勝で姿を消した。



ロゴマークの意味 広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がTOPSを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。